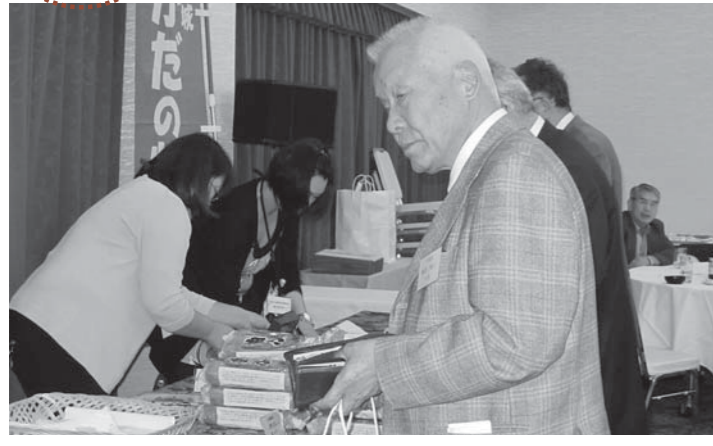


中田

東京中田会総会を開催

ふるさとを思い25年

東京中田会(菊地拓明会長)の総会が5月18日、東京都新宿区の本田出版クラブ会館で開催され、会員のほか登米市から市議会議員ら9人が出席しました。今年、東京中田会が設立して25年の節目の年。総会前には記念講演が行われ、総会では菊地会長からふるさとへ25周年の記念品が手渡されました。総会終了後の懇親会では、ふるさとでの懐かしい思い出や近況などを語り合いました。また、会場内で開催された「中田の物産展」では、ふるさとの物産品を買い求める会員でにぎわい、大盛況となりました。



▲ふるさとを懐かしみ、油麩などを買い求める参加者たち

迫

消防団迫支団が全体訓練

有事に備えて再確認

市消防団迫支団(佐々木敏朗支団長)の全体訓練が6月16日、長沼ボート場で開催されました。訓練には183人の団員が参加。「小隊訓練」と「小型ポンプ操法」の2種目が行われました。参加した団員は、日頃訓練している成果を披露するとともに、有事の際の迅速な対応のため、規律や基本動作を再確認しました。多くの若手団員が参加したこともあり、訓練終了後、参加した団員から「これからの迫町の安全を担う若手の育成に向け、毎年実施すべきだ」と全体訓練を望む声が多く上がりました。



▲4人一組で火点に放水する小型ポンプ操法

訓練の成果を存分に

消防団の消防技術の向上と士気高揚を目的とした、市消防団豊里支団(佐々木金三支団長)の消防訓練が6月2日、豊里多目的広場を会場に開催されました。訓練には、豊里支団七つの分団から102人の団員が参加。「ポンプ操法」「小隊訓練」の2種目について、日頃の訓練の成果を競い合いました。迅速な動作や確実な操作など各分団の練度は高く、来賓や出席者から大きな歓声と拍手が送られていました。「ポンプ操法」では第6分団、「小隊訓練」では本部分団がそれぞれ優勝し、第6分団が総合優勝しました。

豊里支団消防訓練を実施

豊里



▲出席者から「うまい!」と声が上がった第6分団のポンプ操法

未来の森に思い託して

登米市水道事業所の主催による水道週間記念植樹が6月3日、登米町日根牛羽沢地区の市有林で行われ、登米中学校の2年生36人が参加しました。この記念植樹は、第55回水道週間に合わせて北上川の環境保全と水道の大切さを次世代に引き継ぐことを目的に実施。平成14年度からは登米中学校と連携し、総合学習の一環として行っています。当日は晴天の中、用意されたヤマザクラやコナラなどの広葉樹の苗木200本を植樹。参加した生徒たちは、「苗木が大きくなるのが楽しみ」「また体験してみたい」と話していました。

第55回水道週間で記念植樹

登米



▲渡された苗木を丁寧に植樹する登米中学校の生徒たち

米山

平沼沼公園花壇に植栽

花で花壇も心も美しく

米山高校の生徒たちによる花壇植栽が6月7日、平沼沼ふれあい公園のyouyou館駐車場で行われました。当日は園芸ビジネス課の3年生27人が参加。自分たちで育てたマリーゴールドの株750本を植栽しました。米山高校では、毎年ボランティア活動の一環として花壇植栽を実施。公園を訪れる人の目を楽しませています。植栽に参加した生徒たちは、「私たちが、一株一株手間をかけ、大切に育てた花を見ていただき、気持ちよく公園を利用してもらえればうれしい」と笑顔で話していました。



▲自分たちで育てたマリーゴールドの株を丁寧に植栽しました

東和

東京みやぎ東和会が総会

は東和の町へ思い馳せて

首都圏に在住する東和町出身者が中心となって組織する、東京みやぎ東和会(源仁壽会長)の平成25年度総会が、6月1日に東京都内で開催されました。会員など約70人が参加、さらに今年100歳を迎えた東和町米谷の新田サイさんも出席しました。総会終了後の懇親会では、特設の似顔絵コーナーで自分の顔を描いてもらったり、新田さんを囲んで思い出話に花を咲かせたりする光景が見られました。東京みやぎ東和会では毎月会報を発行し、ふるさとのホットな話題や方言などを掲載、会員の皆さんに届けています。



▲楽しいひとときに、笑顔がこぼれる参加者たち